

平成 23 年 1 月 吉日

あいちモリコロ基金 助成活動評価調査票
(初期活動・展開期活動・行政又は企業との協働活動)

○ ご記入にあたってのお願い

1. この調査は団体の代表者、事務局長あるいはそれに準じる方で、貴団体の事業や組織の状況についてよく把握されている方にご記入をお願いします。
2. 回答は、基本的には設問の下にあるカッコの中に、該当する番号または数字を記入するようになっています。
3. この調査でいただいたデータは統計的処理を行います。団体名が特定されることや個別の団体の情報が公表されることは一切ありません。

記入の前に、あいちモリコロ基金の申請書、事業報告書、団体の決算書等をご用意ください。

あいちモリコロ基金につき、複数の助成を受けた団体は、お手数ですが、助成をうけた事業ごとに、調査票をコピーの上、ご記入ください。

ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、

平成 23 年 2 月 15 日(火曜日)までに投函してください。

ご返送いただいた方には、後日、調査結果をまとめた報告書をお送りします。

■アンケートの内容、記入方法に関するお問い合わせ先：

あいちモリコロ基金 基金サポート組織

(【調査実施主体】特定非営利活動法人ボランタリーネイバース [担当者：中尾、遠山])

名古屋市東区東桜 2-18-3,702

電話 052-971-7770

Email : office@morikorokikin.jp

(調査協力 日本福祉大学雨森孝悦教授研究室)

※ お問い合わせは、ボランタリーネイバースまでお願いします。

○ まず、貴団体についてお伺いします。

団体名： _____

助成対象事業名： _____

問 1. あいちモリコロ基金から受けた助成のうち、当てはまるものを下の(1)~(5)から選んで、番号を右の箱にご記入ください。当てはまるものがない場合は空欄にしてください。

2007（平成 19）年度
2008（平成 20）年度
2009（平成 21）年度

	※

(1) 初期活動（前期） (2) 初期（後期） (3) 展開期
(4) 協働 (5) 大規模

※2007（平成 19）年度初期活動を受けた場合は、(1) と記入してください。

問 2. 貴団体には有給スタッフ（常勤または非常勤）が初めて助成金を受けた時点（以下「助成開始時」とします）にいましたか。また、現在ではどうですか。

助成開始時に有給スタッフが (1) いた (2) いなかった
現在、有給スタッフが (1) いる (2) いない

問 3. 前の問で「いた」または「いる」とお答えになった場合、常勤、非常勤の有給スタッフの人数をお書きください。

助成開始時 常勤 _____ 名 非常勤 _____ 名
現在 常勤 _____ 名 非常勤 _____ 名

* 常勤職員は週 4 日以上、非常勤職員は週 3 日以内、団体の活動に参加している方として区分してください。

問 4. 貴団体の年間収入はいくらぐらいでしたか。下の欄にアラビア数字でご記入ください。ただし、可能なかぎり決算ベースとし、繰越金は除外してください。

年度	年間収入額							内、あいちモリコロ基金 助成額				
			億		5	0	0	万円	1	0	0	万円
例)			億		5	0	0	万円	1	0	0	万円
2007(H19)年度			億					万円				万円
2008(H20)年度			億					万円				万円
2009(H21)年度			億					万円				万円

* 万円以下は切り捨てしてご記入ください。

問 5. あいちモリコロ基金から助成を受けた事業年度において、収入に占める本助成金の割合はどれくらいでしたか。下の番号からお選びください。(前期繰越金は除外するものとします)。

- (1) 助成を受けていない
 (2) 1～24 パーセント
 (3) 25～49 パーセント
 (4) 50～74 パーセント
 (5) 75 パーセント以上

2007(H19)年度	
2008(H20)年度	
2009(H21)年度	

問 6. あいちモリコロ基金からの助成の前に、他から助成金を受けたことがありましたか。

- (1) ある
 (2) ない

○ 貴団体が、事業の一環として行った活動についておたずねします。

問 7. あいちモリコロ基金の助成対象となった事業で、個別にどのような活動を実施しましたか。主なものを最大5つまで左の欄に、その結果としての実績を右の欄に記入してください。

活動内容	実績
例1) 講演会、シンポジウムなどの啓発活動	講演会 3 回 (延べ参加者 30 人、スタッフ 5 名)
例2) 啓発ツール作成	CD 1 点製作、1000 枚配布。
例3) 水質の測定	定点観測 3 カ所×6 回 (延べ参加者数 500 名、スタッフ 20 名)

①	
②	
③	
④	
⑤	

○ 助成対象の事業の効果についておたずねします。

問 8. 事業実績の他に、事業を実施したことにより社会に対してどのような影響力や波及効果がありましたか。次のうちから当てはまるものに○をつけ、具体的にどのようなことが起きたか記載してください。(複数回答可)

○	番	項目	影響や波及効果
	(1)	参加者、想定受益者の意識や行動が変わった。	
	(2)	地元住民や地域に変化が起きた	
	(3)	行政、企業、その他 NPO など協働・共催相手に変化が起きた	
	(4)	それ以外で、社会的に意味のある変化が起きた	

問 9. 助成金申請時点に目指していた効果と比べて実際の効果はどうでしたか。複数年度にわたって助成を受けた場合も含めて、現時点での評価をご記入ください。また、その理由を下のスペースにご記入ください。

- (1) 目指していた以上の効果があった。
- (2) 目指していたとおりの効果があった。
- (3) 目指していた効果は一部未達成であった。
- (4) 目指していた効果はかなり未達成であった。

理由：

問 10. 助成は、貴団体自身にはどのような効果がありましたか。以下の表で当てはまるところに○をつけてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	あまり思 わない	まったく 思わない	わからな い
例) 収入が増えた	○				
①事業の立ち上げに役立った					
②事業の質が向上した					
③事業規模が拡大した					
④行政や企業との関係が深まった					
⑤市民とのかかわりが増えた					
⑥有給または無給のスタッフの 力量が上った					
⑦組織としての専門性が上った					
⑧寄付や会員が増えた					
⑨新たな課題の発見につながった					
⑩ 将来展望が開けた					
⑪ 団体の信頼性があがった					

上記の(1)～(9)に関して特に目立った点や補足することがありましたらご記入ください。

問 11. 助成期間終了後の事業の状況はいかがですか。現時点での状況をお答えください。複数回の助成を受けた場合は、最後に助成期間が終了した時点と比較してお答えください。また、コメントがありましたら下のスペースにお書きください。

- (1) 基本的にそのまま継続されている
- (2) より発展した形で実施されている
- (3) 縮小されて継続されている
- (4) 休止あるいは中止されている
- (5) その他 (

)

○ 助成のあり方についておたずねします。

問 12. 助成金額としては適当でしたか

- (1) おおむね適当な金額だった
- (2) 少なすぎた
- (3) 余剰金が生じた（実際に資金の一部を返還した場合も含む）

(1)～(3)までについて、コメントがあればお書きください。

問 13. あいちモリコロ基金の助成がなければ、どうしたと思いますか。もっとも当てはまるものを1つ選んでください。

- (1) 事業を実施しなかった
- (2) 規模を縮小したり、実施時期を遅らせたりしながら事業を実施した
- (3) 他の財源を使って予定どおり実施した
- (4) その他 ()

問 14. 本助成制度は使いやすかったですか。当てはまるものを1つ選んでください。また、それぞれについて理由を下のスペースにご記入ください。

- (1) とてもそう思う
- (2) ある程度そう思う
- (3) あまりそう思わない
- (4) まったくそう思わない

理由：

問 15. この助成制度で、とくによかった点がありましたら、ご記入ください。

問 16. 資金の助成以外に助成対象の事業へのサポート等の支援があったらいいと思いますか。該当する番号に○をつけてください。

- (1) そう思う
- (2) そう思わない
- (3) どちらともいえない

問 17. 前の問で(1)を選んだ方におたずねします。どのような時にサポートがあるとよいと思われますか。また、もし実際に行うとすれば、どのようなサポートがよいと思いますか。下のスペースにお書きください。

- (1) 申請に際して
- (2) 事業の実施に際して
- (3) 事業報告に際して

問 18. この助成制度で困った点や改善を要する点がありましたらご記入ください。

これで質問を終わります。ご協力ありがとうございました。